

やくわえ



No.113

令和7年9月15日発行
東京都神道青年会

就任挨拶



会長
服部 佑子
はつとり ゆうこ
平河天満宮
禰宜

謹んで皇室の弥栄と国家の平安、神宮並びに各ご社頭のご隆昌を衷心よりご祈念申し上げますとともに、第六十三回神宮式年遷宮の諸祭が恙なく御斎行されており、誠意に慶賀に存じます。

二月に開催されました臨時総会にて篠前会長よりバトンを受け取り、当会の会長という重責を担わせて頂くこととなりました。身に余る大役ではありますが、二年間全力で努めてまいり所存です。そして何事も「楽しむ」ことも忘れず、取り組んでまいりたいと思っております。

昨年当会は、創立七十五周年という節目を迎えることが出来ました。これも多くの諸先輩、会員の皆様方のお陰と心より感謝申し上げます。本年は大東亜戦争終結八十周年にあたり、当時を知る者が少なくなっている今、歴史を学び、

心に感じ、今一度英霊に感謝の誠を捧げるべく、英霊顕彰に励みたいと思っております。

また、明年には東日本大震災より十五年の月日が経ちます。当時現役会員として復興支援を行った者は少なくなつてはおりますが、「忘れない、風化させない」の思いを胸に、引続き思いを寄せていくと共に、いつ起こるか分からない有事に備えるべく、防災意識の向上にも目を向けていきたいと思っております。

周年を終えて、七十六年目のスタートとなる今期。「次世代」という言葉を意識する瞬間が多くありますが、これまで先輩方が培ってきた「歴史・想い」を大切に、これから「次」に向かつて、時代に即した会運営ができるよう、模索・検討、そして挑戦していきたくと思っております。

至らぬ点多々あるかと思われませんが、会員の皆様方のご協力と積極的なご参加、そして先輩方におかれましてはご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。



副会長
高島 俊亮
たかしま としあき
天祖神社
禰宜

今般、副会長を拜命いたし、身に余る光栄と重責に、心身ともに引き締まる思いです。「初心忘るべからず」という言葉があります。これは常に心に留めておく言葉です。慣れた仕事を慣れたようにやらない、慢心をして事に当たらないということは当然ですが、何より青年会に入つたばかりの頃の新鮮な気持ちを忘れずに持ち続けようという心構えです。

現在の青年会の活動は、過去の蓄積と大勢の先輩方のご努力の上に成り立っています。私もかつて総務部・教養部・渉外部に所属し、様々な事業に携わった経験がありますが、それらは全て、先達たる先輩諸賢が道を敷いてくださり、築き上げてくださったものばかりです。そうしたことを忘れないことこそが、私にとつて初心に返ることだと思っております。そして当代会で、次世代に何を残し先鞭を示していけるのか、これからの正念場だと思っております。

今期も各事業が計画されておりますが、こうした事業はひとりでは立ち上げることも運営することも難しいものです。中でも組織検討に関しては、近年の物価上昇、郵送費の高騰を受け、予算組みが非常に難しくなつてきており、郵送案内の在り方について検討を進めてまいります。

皆様には何卒お力をお貸しいただきたくお願い申し上げます。これからの任期いっぱい、役員一同、服部会長をしっかりと支えていく所存です。





副会長
渡邊 喬弘
わたなべ たくひろ
千住本氷川神社
禰宜

この度、副会長の重責を拝命するに至り、身に余る光栄に存じるとともに、その任の重さに身の引き締まる思いです。浅学非才の身ながら先人より脈々と受け継がれてきた当会の由緒と伝統を尊び、微力を顧みず、誠心誠意その継承と発展に努めてまいり所存です。

入会して十年の月日が経ち、総務・渉外・教化・事業と渡り歩ませていただきました。その時間はどれを取っても貴重な財産であり、多くの同志との出会い、生涯の宝になるような数多くの経験と学びをいただきました。

都神青の歴史を歩み進めていく中で、副会長という立場を拝命できることは望外の喜びの反面、会務においての責任を受ける立場であり、先人諸賢の築かれた尊き歴史に恥じぬよう、全身全霊をもってその職責を全うする所存です。

我々青年神職は、各位の職務に励む一方、会員数の減少により組織運営が困難な状況にあります。それでもなお、会に参集したいと

願う背景には、「楽しい」と感じる心の充足が根底にあると拝察いたします。この喜びこそが何よりの原動力であり、当会卒業後も、同志や先輩後輩との絆が揺るぎないものとして続いている所以であると確信いたします。

服部会長は、「楽しむこと」を根本理念として高く掲げておられます。その御志を仰ぎつつ、会員各位と心を一つにして会務に精励し、その具現に資するべく、微力ながらもこの二年を凜然として歩み重ねてまいり所存です。

新たな息吹の兆しも感じられる今期におきましては、当会の結束と絆を一層堅固なものとし、会員が相互に連携しながら諸事業に参画できるよう、会務運営を目指します。

当会創立より幾年を経て、令和の御代も七年を迎えるに至りました。脈々と受け継がれてきた理念と精神を深く胸に刻み、これよりの会務に真摯に取り組んでまいり所存です。二年の任、何卒よろしくお願い申し上げます。



議長
佐和橋 義之
さわはし よしゆき
深川神明宮
宮司

この度、東京都神道青年会の議長の任をお預かりすることとなりました。青年会に加わって五年目という会歴ではありますが、前期の二年間は教養部長を務め、研修事業に携わってまいりました。多くのご指導とご助言を頂きながら進める中で、青年会がもつ学びと交流の力を強く実感した二年間でもありました。

執行部の中では比較的年長の立場となりますが、その分、これまで以上に落ち着いて耳を傾け、場の空気や流れを大切にしながら関わっていければと存じます。これまで教壇に立っていた経験に加え、現在は幼稚園で子どもたちと日々接する中で「伝えること」と「受けとめること」の大切さを実感しております。

議長を務めるとは会全体の方向性を見すえながら多様な立場や考え方を尊重しつつ意見を整理して理解と納得を共有していくことにあると受け止めております。活発な意見交換の中から生まれる力が会

をよりよい方向へと導くよう全力を尽くしてまいります。また、青年会は学びの場であると同時に仲間との絆を育む場でもあります。

研修や奉仕を共にする時間の中で芽生える友情や信頼は、時を経て揺らぐことのない財産です。互いに励まし合い切磋琢磨しながら自らを高め合うことができるのがこの会の強みであり、その伝統を絶やさぬよう努めたいと存じます。

先輩方が築き上げてこられた長きにわたる歴史を持つこの会が、これからも世代を越えて継承されていくためには、私たち世代の真剣な取り組みが欠かせません。

日々の小さな積み重ねの中にこそ未来は形づくられていきます。今を担う一人として、また次代への志をしっかりとつなぎ神職としての歩みを共に深めてまいります。

この先の二年間、丁寧な対話を重ねる中で、活気と温かさのある会に育ててゆく所存です。至らぬ点多々あるうかと存じますが、先輩諸賢のご指導とご協力を賜りながら、仲間と共に歩みを進めてまいります。今後とも変わらぬご厚誼をお願い申し上げます、ご挨拶いたします。

総務部



部長 齋藤剛
下高井戸八幡神社 宮司

総務部は会務運営の中核を担う重要な部であり、その部長職を預かることは大変な重責であると感じております。また、今期は次長職が久方ぶりに復活し、会計を含めて計十名の体制で二年間の任期を務めます。

都神青発会より七十五周年が経ち、会議の方法、各種案内状の発送など、見直しをしなければいけないものが増えてまいりました。紡いできた歴史を次世代に繋ぐために、変えることも必要です。

円滑な会務運営を心掛けますとともに会長の様々な挑戦をお支えすべく邁進してまいる所存です。至らぬ点多々ございますが、二年間ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願ひ申し上げます。



次長 田村仁志
大宮八幡宮 権禰宜



会計 藤ヶ崎智栄
浅草神社 権禰宜

この度、総務次長というお役を仰せつかることとなりました。過去に永島先輩、森下先輩が務められておりましたが私自身存じ上げておりませんでした。はじめは次長とは何なのだろうと思いましたが、次長という役割は、部長の女房役としてサポートすると共に、全体を見渡しながら必要な部分や足りない部分を補うことだと思っております。

今期は会計、庶務もガラッと変わり新たな顔ぶれとなりましたので、裏方に徹し会運営が円滑に進むよう務めたいと思います。ご指導ご鞭撻の程、宜しくお願ひいたします。



庶務(特別委員会) 渡邊輝比古
銀杏岡八幡神社 権禰宜



庶務(事業) 春田昇三郎
牛嶋神社 権禰宜



庶務(広報) 瀧亮子
高輪神社 権禰宜



庶務(渉外) 佐々木義修
櫻田神社 宮司



庶務(教化) 猿渡諒
大國魂神社 権禰宜



庶務(教養) 品川明日香
新田神社 権禰宜



庶務(総務) 榎本光孝
諏訪神社 権禰宜

教養部



部長 石川明寿
金王八幡宮 権禰宜



副部長 豊田芳亮
田無神社 権禰宜



幹事 今井健琉
品川神社 権禰宜

青年会活動に携わり、約十年。初めての部長職に身が引き締まる思いです。

今期は従来の各種研修に加え、終戦八十年など、時世に沿った教養講座を開催したいと考えております。受講生が神職として素養を高める場となるよう企画・実施してまいります。教養部一同メリハリをつけて、一つ一つの事業を大切に取組む所存です。何かと至らぬ点もあるかと存じますが、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願ひいたします。併せて各種研修会・講座へのご参加をお待ちしております。



教化部



部長 毛利 勇人
亀戸天神社 権禰宜



副部長 牧田 多摩川
浅間神社 権禰宜



幹事 渡辺 大祐
大國魂神社 権禰宜

今期も引き続き、教化部部長を仰せつかることとなりました。今一度初心に戻り、教化資材作成、都氏青協の活動に邁進してまいります。

主な活動のひとつとして、都氏青協の事務局を担っております。都神青・都氏青協の両輪を繋ぐ重要な役割でもありますので、各氏子青年会・崇敬会各位と力を合わせ、様々な活動に協力してまいります。

教化部一丸となって様々な活動に尽力してまいりる所存でございますので、ご指導ご鞭撻の程、よろしくお願ひ申し上げます。

渉外部



部長 田村 康晃
渋谷氷川神社 権禰宜



副部長 千葉 布子
稲荷神社 権禰宜



幹事 矢野 真尋
浅草神社 権禰宜

本年は大東亜戦争終結八十年の節目にあたります。渉外部は慰霊事業・英霊顕彰に取り組むとともに、神青協・一七協の事務局として連絡業務を担ってまいります。

四月二十八日の主権回復記念日靖國神社参拝や八月十五日の都内戦災震災殉難者慰霊祭並びに靖國神社参拝など、渉外部の事業は日付が決まっている点が特徴です。多くの会員の皆様にご参加いただければ幸いです。

年齢に甘えることなく、副部長・幹事・庶務・部員とともに二年間邁進してまいります。よろしくお願ひ申し上げます。

広報部



部長 山中 聡一郎
田無神社 権禰宜



副部長 高島 瑞暉
神田神社 権禰宜



幹事 椿 拓磨
穴守稲荷神社 権禰宜

服部会長から広報部長のお話をいただいたときは、正直とても驚きました。これまで教養部、事業部、総務部という各部に所属してききましたが、広報部は初めて、しかも部長としてお声がけいただけるとは思っていなかったからです。

この二年間で「やくわえ」を四冊発行する予定です。部内三役をはじめ、部員の皆さんと一緒に、少しでも良いものを作っていきたいと思っています。

ホームページや各種SNSの更新なども取り組んでまいりますので、よろしくお願ひいたします。

事業部



部長 園田 治穂
八幡神社 権禰宜



副部長 石倉 義浩
鷺神社 権禰宜



幹事 田村 康陽
渋谷氷川神社 権禰宜

この度、服部会長のもとで事業部部長を仰せつかることとなりました。都神青七十六年目の一歩を明るく楽しいものとするべく努めてまいりる所存です。二年間、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひ申し上げます。

最近は趣味や娯楽が多様化し、「現代人は忙しい」なんて言葉もあります。青年会の会員でありながら、なかなか活動に出てこれない方もいらっしゃるかと思います。そのような方でも気軽に楽しく参加できる懇親事業を企画実施していきます。みなさまのご参加、お待ちしております！

新執行部に一言

監事



篠 泰比呂
氷川神社 禰宜

この度、至らぬ身ながら監事の大役をお預かりすることとなりました。服部会長をはじめとする新執行部の活躍、また、当会の発展を陰ながら支えることができるよう努めてまいります。

前期は当会創立七十五周年の佳節にあたり、通常事業に併せ周年記念事業に至るまで多岐に亘る事業の展開が叶いました。周年を預かる時期には「周年」ならではの役目があるように、通常会期には「通常」の中にこそ求められる役目があると考えます。時代ごとの様々な問題や変化に向き合いながら何事においても本質を見極め、本分を忘れぬよう自身の研鑽も重ねつつ職務に邁進する所存です。時に柔軟さを、時には強硬さを有しつつも、調和を図りながら、

中庸なる心と頭を持ち、役目を果たすべく会務に向き合いたく存じます。二年間何卒宜しくお願い申し上げます。



内海 通人
東大島神社 禰宜

この度、監事という大変重い役職を拝命いたしました。二年間、服部会長をはじめとする新役員の皆さまを支えられるよう、尽力してまいります。

前期は周年という特別な節目でしたが、今期は周年記念事業などの大きな事業がない分、やるべきことに力を注ぎ、新たな挑戦ができる期になるかと思えます。また初めて役員になられた方も多く、青年神職ならではの行動力や価値観、柔軟性を生かして、さまざまなことに挑戦し、多くの「新しい風」を吹き込んでいただきたいと願っております。二年間、何卒よろしくお願い申し上げます。



森田 尚久
磐井神社 禰宜

服部会長を始め新役員の皆様、ご就任おめでとうございます。

今期二年間には、東京都主管のもと一七協第三十二回総会の開催が予定されております。

この通常事業期は、先輩方や他県からも注目されやすい二年間です。新体制になったからこそ、変える所・守る所を協議し、新しい都神青を作りあげていかなければなりません。

継続している事業を繰り返し、従来の考えややり方に甘んじることなく、今を生きる若手神職が都神青の活動に興味を持ってもらえるよう、組織を見直す時期になっているかと感じます。

新しいことに挑み、体制を変えていくことには「度胸と判断」が必要不可欠です。それでも失敗を恐れることなく挑戦していただければ幸いに存じます。皆様方の二年間のご活躍と更なる飛躍をお祈り申し上げます。

参与



大鳥居 良人
亀戸天神社 宮司

浅学非才で不器用ながら、目の前の活動に取り組み続け、気付けば最後の二年となりました。これまでに学び得た経験を生かし、多くの方から頂いてきたご恩を会の発展という形でお返しできるよう努めてまいります。

まずは自分に厳しく、言い訳をしない、人のせいにならない、あれこれものを言うだけでなく率先して行動する、否定批判をするのではなく相互理解を深めてより良い道に歩みを進める。これらを心掛けて活動に取り組んでまいります。青年神職として、都神青の会員として活動できるのは今だけです。そこで得ることが出来る経験の中には、日々の奉仕や地域の活動に繋がることは勿論、この先の人生においても役立つことが必ずあります。多くの方に是非積極的に活動に参加して頂きたいと思っております。二年間よろしくお願いいたします。



東京都神道青年会創立七十五周年記念事業報告

事業名

一、記念大会

- ① 物故者慰霊祭
- ② 記念式典
- ③ 記念講演
- ④ 祝賀会

開催(完了) 時期

令和六年十月二十八日

場所

東京ドームホテル

二、記念事業

- ① 神宮奉告参拝
令和六年三月十八・十九日
- ② 都神青ホームページ更新
令和六年四月
- ③ 教化資材
令和六年四月
- ④ 勤労奉仕
令和六年六月十・十一日
- ⑤ 神道行法錬成研修会
令和六年七月四・五日
- ⑥ なつやすみ子供神社体験学習
令和六年七月二十三・二十四日
- ⑦ 都内戦災震災殉難者慰霊祭並びに靖國神社参拝
令和六年八月十五日
- ⑧ TSS懇親事業
令和六年八月二十八日
- ⑨ 御朱印展―東京の神社御朱印大集結―
令和六年十二月十二～十六日
- ⑩ 国内慰霊祭
令和七年三月四・五日
- ⑪ 「やくわえ」記念号発行
令和七年三月三十一日

神宮・熱田神宮

|

武蔵陵墓地

武蔵御嶽神社御神域

明治神宮

東京都慰霊堂・靖國神社

穴守稻荷神社・

JALスカイミュージアム・

羽田空港ギャラクシーホール

銀座アポロ昭和館YOHAKU

八丈島

|



活動報告

大寒禊鍊成研修会

一月二十日、明治神宮禊場に於いて大寒禊鍊成研修会が行われ、二十七名が参加した。

早朝は小雨も見られたが、やがて晴れ間が広がり、澄んだ空気の中で鳥船行事が行われた。篠直嗣道彦が先達として合図を出す中、「エイッ」と声を発しながら清らかな御水を浴び、正月明けの心を整えるひとときとなった。

研修後の講評では、「神道の禊は皆で協力して行うもの。他者への心配りを忘れずに」との話があり、心に響いた。新年を迎えた節目の季節にふさわしい、清々しくも意義深い研修会であった。



(品川明日香)

新年会

一月三十一日、神田神社明神会館に於いて来賓・先輩諸賢にご列席頂き、七十九名の参加のもと、新年会が開催された。開会に先立ち、神田神社を正式参拝した。

後に明神会館へ移り、開会。篠泰比呂会長挨拶、来賓祝辞と続き、神田神社清水祥彦宮司のご発声で乾杯・祝宴となった。毎年恒例の清興は、様々な景品が用意されており大いに盛り上がった。

年末年始の繁忙期から久方ぶりに顔を合わせ参加者同士、英気を養い、懇親を深めることができたのではないかと思う。締めは都氏青協大井真二会長が行い、お開きとなった。



(榎本光孝)

第一回教養講座

二月七日、社会奉仕活動の一環として、「心に寄り添う手話」の教養講座を都神社庁にて開催した。

近年ではコミュニケーション・バリアフリー社会の実現に向けて自治体や企業が活動している情勢の中で、我々神道界においても障害者への対応について目を向けてゆく時代になってきていると考え、今回の手話教養講座を開催する運びとなった経緯である。

本講座の前半では、聴覚障害者の方々にとって、普段の私生活の中で耳が聞こえないことでどのようなことが起きるのか、講義をいただいた。後半には日常の挨拶や自分の氏名などの実技講座を行った。



実技講座を行った。

一度きりの講座で、会話をする手話の技能を習得することはまずもって困難なことである。

参拝に来られた方と接する際に一番重要な事は手の動き(手話)や指さしを交え、相手の目を見て口の動きで固有名詞を表現して、「嬉しい」「悲しい」といった感情表現をすること。また、会話をする際に声の調子を変えるのと同じように、顔の表情やしぐさなどを使うことが相手への気持ちを表現する方法となる。

想像していた以上に有意義な講座となり、聴覚障害者の方々の支障を理解し心も豊かになったのではないかと感じた。(森田尚久)



臨時総会

二月十日、都神社庁にて臨時総会が行われ、正・賛助会員五十三名が集った。ご来賓には都神社庁小野貴嗣庁長、清水祥彦副庁長、神青協北方宏和監事をはじめ多くの方に出席を頂いた。

篠会長より、次期会長に千代田区平河天満宮禰宜の服部佑子氏が指名された。その後、服部新会長は次期役員を指名、全ての人事が拍手をもって承認された。

服部新会長は「大変な責任を感じているが、沢山のことを経験させてもらった青年会、二年間楽しく務めたい」と次期に向けての抱負を述べた。初めて役員に選出された会員もおり、緊張した面持ちで出席者からの激励の拍手を受けていた。

(鶴岡慶子)



建国記念の日奉祝パレード

建国記念の日たる二月十一日、「日本の建国を祝う会」(大原康男会長)主催による「建国記念の日奉祝パレード」が催行された。午前九時三十分、神輿御霊入れ神事に当会より三名が奉仕し、厳粛に執り行われた。

都内をはじめ関東圏より、多くの神輿・山車・手古舞・大太鼓が参加した。本年は昨年までと異なり、代々木公園交番前交差点を出発し、明治神宮大前へと進む初めてのルートとなった。

表参道を進むマーチング部と明治神宮第一鳥居前にて合流し、その勇壮な姿を披露し沿道や参道・境内に集う多くの人々と建国記念の日を言祝いだ。

(佐々木義修)



第二回教養講座

二月十二日、日本文化興隆財団会議室に於いて教養講座を開催し、二十九名が受講した。

講師として、季刊誌『皇室』を編集されている公益財団法人日本文化交流財団編集室編集長伊豆野誠先生をお招きし、「島嶼激戦地と皇室の祈りと慰霊」と題してご講義頂いた。

講義では、いにしえより皇室が国民を大切に思い、慰霊の旅、災害時の被災地ご訪問など、常に祈りの心をもって寄り添われてきたことが語られた。後半では、大東亜戦争における八丈島の戦史についても解説がなされた。

本講座は、三月五日に斎行された八丈島での国内慰霊祭に先立ち、その意義を深めることを目的に開催された。慰霊と顕彰の意義を再確認し、継承への思いを新たにする貴重な学びの場となった。

(佐和橋義之)



献血奉仕活動

二月十六日、湯島天満宮の境内に於いて、都氏青協役員の方々と協力し献血奉仕活動を行った。

当日は天候にも恵まれ、湯島天満宮の境内には梅まつりへ訪れる参拝者も大勢おり、三十九名と多くの方々に献血のご協力をいただくことができた。

今年度より都神青役員の神社SNSアカウントからも告知を行った。また近年では「神社de献血」など各社の取り組みにより神社界に献血活動が浸透してきている。

都神青においてもより積極的に展開していき、重要性を幅広く周知して継続していきたい。

(森田尚久)



外貨・古切手収集

一月三十一日から二月二十八日まで、都神社庁にて外貨・古切手収集が行われた。なお、一月三十一日に開催された新年会時においても収集を行った。

各社よりご協力頂いた外貨は、合計約九十六キロを公益財団法人日本ユニセフ協会へ寄贈した。古切手は、合計約〇、九キロを特定非営利活動法人日本郵便文化振興機構へ寄贈をした。本年も皆様の多大なるご協力により事業を開催し、両団体へ寄贈できた。

今後も収集事業を実施して社会福祉の増進に貢献できるよう様々な形を模索して本事業を行ってきたい。
(森田尚久)



懇親ボウリング大会

二月二十一日に王子駅前にある「サンスクエアボウル」にて懇親ボウリング大会を開催した。

午後六時、服部副会長の挨拶、始球式のち各レーンゲーム開始となった。現役員、各社職員及びそのご家族・学生達で総勢四十一名が参加した。

ゲーム後は、午後八時より同フロアにある「141 OUI TABLE」に会場を移し、青木大明相談役より乾杯の発声をいただき懇親会が始まった。多くの景品が振る舞われた表彰式では、優勝の景品を森下雅仁相談役が勝ち取った。

楽しい時間はあっという間に過ぎ、かけがえのない時間となった。
(渡邊喬弘)



※ここまでは令和六年度の事業の為、役職表記は当時のものとなります。

コラム

十月まで開催中の大阪・関西万博で象徴的存在といえる大屋根リングの保存について、議論が続いている。当初は解体後に木材を再利用する方針だったが、現地保存も検討されており、すでに一部の海外・企業パビリオンでは部材や施設ごと移転先で再利用されることが決まっている。

過去の万博では、明治二十二年パリ万博の目玉であったエッフェル塔も、当初は景観にそぐわないと反対され閉会后二十年で解体予定だった。しかし、無線塔などの用途で活用され、今では「パリの象徴」となった。

昭和四十五年の大阪万博では、「太陽の塔」も当初は保存予定がなかったが、市民の声により保存が決定。現在は万博記念公園で公開され、令和七年に重要文化財に指定される。大屋根リングも同様に、時代の記憶を映す存在となっ

定時総会

四月十六日、都神社庁地下にて令和七年度都神青定時総会が開催された。

ご来賓に都神社庁より猿渡昌盛副庁長他役員の諸先輩方、神青協より北方宏和会長他役員の皆様、日頃よりお世話になっている各外郭団体のご代表をお招きし、正・賛助会員合わせて五十四名が出席した。

篠前会長の挨拶の後、猿渡副庁長、神青協北方会長よりご祝辞を頂戴し、議事へと進んだ。

令和六年度事業報告、決算報告、創立七十五周年記念事業報告、決算報告と進み、監査報告の後、各議案が承認された。創立七十五周年記念事業においては、十月二十八日に行われた記念大会をはじめ、御朱印展、国内慰霊祭などの事業について内海通人実行委員長より報告並びに関係各位へのご協力に対する御礼が述べられた。

続いて新執行部へと交代し役員を代表し服部新会長が挨拶。その後議事を再開し、基本活動方針、各事業の計画が承認された。予算案については項目名等の変更





について意見が出た。執行部の協議の末、修正を含めた形で承認を頂くこととなった。

総会終了の後は、会場後方にて直会が行われた。都氏青協大井会長より乾杯のご挨拶を頂戴し、この度相談役をご卒業される五名の先輩方には服部会長より記念品の贈呈が行われた。松岡由里子相談役による中締めの後、箱根湯本温泉の「天成園」へ場所を移し新旧交代旅行が引き続き行われた。

篠会長期への労いと、服部会長長期への激励の言葉を頂戴し、盛会裡に終わった。

(齋藤剛)

新旧交代旅行

四月十六・十七日、新旧交代旅行を箱根湯本温泉「天成園」にて開催した。総会より神青協北方会長にもご参加頂いた。また、来賓として箱根神社小澤篤至禰宜を始め、賛助・相談役の先輩方も合わせて総勢三十六名が参加した。宴席では恒例の「新旧交代の儀」が行われた。篠前会長と服部新会長の間で大盃を酌み交わし、無事に会長職が引き継がれた。

今期より新たに役員に就任する参加者もあり、初めて見る大盃の光景に驚く様子も見られた。参加者は親睦を深めることができた。

(石倉義浩)



主権回復記念日靖國神社参拝

四月二十八日、主権回復記念日に英霊への感謝の誠を捧げるべく、服部会長をはじめとした都神青会員、OBなど総勢三十一名が靖國神社を正式参拝した。

殿内では、玉串拝礼の後に黙祷を行い、皆が静かに祈りを捧げた。その後、都神社庁副庁長・神政連本部長田村康雄様より「主権回復の日に靖國神社を参拝する意義」について改めてお話を頂戴した。

我が国の主権回復という重要な歴史について、我々神職が様々な世代の方に伝え、靖國神社への参拝を促すことが責務であると再確認することができた。

(富田剛弘)



役員研修会

五月二十二日、新役員二十一名参加のもと、役員研修会を行った。

まず江東区にある東京大空襲・戦災資料センターを見学し、空襲の説明や被災者よりご講話を頂いた。次にすみだ郷土文化資料館を見学し、ボランティアガイドの方より説明を受けた。最後に、東京スカイツリーに移動し、佐和橋議長より、戦災復興整理事業について説明を受けた。

この研修にて、直接お話を聞くことで東京大空襲の悲惨さを知ることができた。大東亜戦争終結八十年を迎えるにあたり、今後の慰霊祭や日々の奉仕に活きる大変有意義な研修会となった。

(春田昇三郎)



二 ユー ス

都氏青協参拝旅行

三月二日、第二十四回都氏青協参拝研修旅行が参加者四十一名にて開催された。

今回は千葉県市原市に鎮座する姉埼神社を正式参拝。全国氏青協の今富一義副会長はじめ、姉埼氏青及び総代にお出迎えいただき、海上健宮司よりご由緒や歴史、境内説明、神社神輿などのお話をいただいた。



参拝後、富津市の和蔵酒蔵を見学、様々なお酒を試飲した。昼食懇親会では安房方面に移動し、地元で獲れた海鮮料理を堪能した。その後は君津市のはちみつ工房見学、ここでも様々なはちみつ等を試飲。有意義な一日を過ごし帰路に就いた。会員相互の懇親と親睦が一層深まった、参拝研修旅行となった。

(毛利勇人)

神青協神宮研修会

三月十八・十九日の二日間、神青協神宮研修会「受け継ぎ紡ぐ」変はりゆく世の中で守り繋ぐ神宮式年遷宮」が神宮にて開催され、全国から総勢百七十六名の青年神職が参加した。

初日の講義では、第一講として神宮権禰宜大野由之先生に「神宮式年遷宮について」、第二講では神宮技師宮本史典先生に「御装束神宝について」と題したご講演をいただき、式年遷宮への意義と重要性の理解を深めた。二日目は、内宮・外宮・宮域林の三分科会に分かれ、清掃奉仕をはじめ各所の見学や説明を受けた。

令和十五年秋の御遷宮にむけ、青年神職として力を尽くす決意を強固にすることができた

(富田剛弘)



一七協研修旅行会

三月二十五日、浅草神社にて一七協研修旅行会が開催され、都神青から八名の会員が参加した。本研修旅行会は宿泊を伴う形で行われることが多いが、今回は日帰りでの開催となった。

浅草神社を正式参拝し、その後同神社宮司、当会相談役、一七協顧問でもある土師幸士先輩を講師に、浅草神社の歴史や三社祭についてご講話いただいた。講話後には神輿庫に場所を移し、三基の宮神輿を間近で見せていただき、その迫力に圧倒された。

研修後には、屋形船にて懇親会が行われた。馬場裕一会長期最後の大きな事業となり、懇親会もよ一層の盛り上がりを見せた。

(齋藤剛)



神青協定例総会

四月二十二日、神社本庁大講堂に於いて第七十六回神青協定例総会が開催された。

今期は東京地区の当会から、副会長に篠監事、地区理事に服部会長、指名理事に渡邊喬弘副会長の三名が選出され、これから二年の任期を務めることになる。また、事業委員会に齋藤剛総務部部长、遷宮委員会に田村康晃渉外部部長が外向することとなった。また、定例表彰では当会動画作品の「八月に祈る」が最優秀広報賞を受賞した。

総会後は夕刻より、明治記念館にて菊波の友垣会が開催された。全国の顧問・OBの先輩方、現役会員らと共に懇親を深めることができた。

(田村康晃)

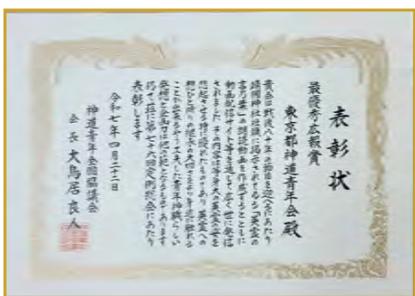


動画「八月に祈る」表彰

四月二十二日に開かれた神青協定例総会の定例表彰において、当会演劇同好会作成の動画「八月に祈る」が最優秀広報賞を受賞した。同総会中に、大鳥居神青協会長より服部会長へ表彰状が手渡された。本動画は、靖國神社に祀られる英霊からの手紙を会員の神社などを背景に朗読したものである。

現在、全四作品が公開されており、それぞれが演劇同好会のYouTubeチャンネルにて視聴することができる。（山中聡一郎）

都神青演劇同好会YouTube



都氏青協定時総会

六月二十二日、明治記念館に於いて東京都氏子青年協議会の令和七年度定時総会が開催された。氏子青年会十四単位会並びに来賓・都神青役員・会員らを含め七十九名が参加した。

都氏青協大井会長、当会服部会長、都神社庁猿渡副庁長の挨拶に続き、令和六年度事業報告並びに決算、令和七年度事業計画並びに予算等の審議が行われ、慎重審議のうえ無事承認された。本年は改選期であったが、大井現会長が留任することも併せて承認された。閉会后、同記念館別室にて懇親会が行われ、会員相互の懇親と親睦がより一層深まり盛会裡におおききとなった。（渡辺大祐）



一七協総会

六月十七・十八日、茨城県神道青年会主管のもと、ホテル・ザ・ウエストヒルズ・水戸に於いて創立三十周年記念一七協第三十一回総会が開催された。

審議では当会服部会長の今年度の会長就任が承認された。今期が一七協の三十周年に当たるため、創立三十周年記念事業も併せて承認された。また、各単位会報告も行われ、当会は石川明寿教養部部长が報告を行った。

続く講演会では、高信幸男先生より「日本人の名字」についてご講演をいただいた。講演内では日本の名字が多い理由や、名字の地域性についてなどを解説いただき、難読名字のクイズも行われた。懇親会ではご来賓、先輩諸賢や七県の仲間との交流を深めることができた。（千葉布子）



神道人野球大会

六月二十日、明治神宮外苑軟式野球場にて第六十四回神道人野球大会が開催された。

都神青チームは初戦、靖國神社チームと対戦した。前半に奪った大量リードを何とか守りきり勝利を収めた。二戦目の明治神宮チームとの対戦は激しい投手戦の末、惜しくも敗れ三位という結果に終わった。大会は明治神宮チームがむらさき会チームとの決勝戦に勝利し、優勝の座に輝いた。

明治神宮外苑の再開発に伴い、現球場での大会は最後となったが当日は晴天にも恵まれ、無事に大会を終えることができた。閉会后は明治神宮外苑「森のピアガーデン」にて懇親会が開催され、懇親を深めた。（戸田泰仁）





昨年十月、国連女性差別撤廃委員会（CEDAW）は、日本政府に対し皇室典範の改正を勧告し、「皇位継承における男女平等」を保証すべきだと述べました。これを受け、日本政府は勧告を「内政干渉」と断じ、CEDAWを抛出金対象から除外する異例の対応を取りました。

この勧告に対して反論し、NGO「皇統を守る国民連合の会」の葛城奈海氏は、国連で三十五秒のスピーチを通じて次のように述べました。「日本の天皇は祭祀王である。カトリックのローマ教皇、イスラム教の聖職者、チベット仏教のダライ・ラマはすべて男性なのに、国連はそれらに対して女性差別とは言わない。なぜ日本の皇室だけ問題視するのか」と訴えたのです。宗教的・儀礼的役割に基づく皇統の尊厳を擁護する発言であり、CEDAWは国際社会に理解が不足しており、我が国への内政干渉だと強く批判しました。

この問題において、国連の勧告は「女性差別撤廃」という普遍的価値を根拠としますが、それを日

本の皇室制度にそのまま適用するのは、伝統と信仰の文脈を無視することにつながります。国際的普遍性と国内の歴史的文化とを安易に同列に扱うことこそが、真の意味での「流行」に過ぎないのではないのでしょうか。

神職として我々が担うべきは、時代や世論に流されずに、むしろその混乱の中において「不易」守るべき核を見抜く眼差しです。祭祀や地域の祭祀において、「祈りとつながり」が如何に大切かを日々奉仕しながら感じていきます。皇位継承についても、単なる制度議論に終始するのではなく、皇室が有する「神体と祈りの連続性」を守る責任こそが、我々神職の視点から重視されるべきです。

「不易流行」とは、変わるべき時代とともに柔軟に対応しつつ、変わってはならないものを知る知恵であります。我々青年神職は、皇統と皇室の継承が国民の精神的支柱であることを深く自覚し、その価値が理解され、そして次世代へ正しく伝えられるよう努めてまいります。

都神青の主な活動と予定

| | | | |
|-----------------|-----------------------------|---------------------------------|------------------|
| 《都神青の主な活動と行事予定》 | | 十一月七日 雅楽研修会② 都神社庁 | |
| 【令和七年】 | | 七月二・三日 神道行法錬成研修会 武蔵御嶽神社御神域 都神社庁 | |
| 七月二・三日 | 役員会④ | 二十日 | 役員会⑧・連絡会③ |
| 八月 八日 | 千住本氷川神社 | 二十七日 | 忘年会 |
| 八月 十日 | 体験学習 明治神宮 | 一月二十日 | 大寒禊錬成研修会 明治神宮 |
| 八月 十五日 | 教養講座① 靖國神社 | 二月六日 | 役員会⑨ W E B 会議 |
| 八月 十五日 | なつやすみ子供神社 | 二月八日 | 新年会 神田神社 |
| 八月 十五日 | 役員会⑤ W E B 会議 | 二月二十四日 | 役員会⑩・連絡会④ |
| 八月 十五日 | 都内戦災震災殉難者慰霊祭並びに靖國神社参拝 | 三月十八日 | 役員会⑪ |
| 八月 二八日 | 東京都慰霊堂 靖國神社 | 《関係団体の活動と予定》 | |
| 八月 二八日 | 連絡会② | 八月二一・二二日 | 神青協夏期セミナー |
| 八月 二八日 | 西久保八幡神社 | 九月二四日 | 一七協神職野球大会 靖國神社 |
| 八月 二八日 | 野外懇親会 | 九月二四日 | 大井ふ頭中央海浜公園スポーツの森 |
| 九月 十日 | 東京プリンスホテル 役員会⑥ W E B 会議 | 【令和八年】 | |
| 九月 十日 | 湯島天満宮 雅楽練習会 | 三月二四・二五日 | 神青協 中央研修会 |
| 九月 二十日 | 都神社庁 雅楽研修会① | 三月二五・二六日 | ホテル日航奈良 |
| 九月 三十日 | 都神社庁 役員会⑦ 深川神明宮 T S S ヨガ体験会 | 三月二五・二六日 | 一七協 研修旅行会 |



令和7年度 東京都神道青年会 役職・所属名簿

【三役・監事・参与】

Table with 4 columns: Position, Name, Affiliation, and Notes. Includes roles like 会長 (President), 副会長 (Vice President), 監事 (Supervisor), and 参与 (Participant).

Table with 4 columns: Position, Name, Affiliation, and Notes. Includes roles like 監事 (Supervisor).

Table with 3 columns: Position, Name, Affiliation. Includes 参与 (Participant).

【相談役】

Table with 4 columns: Name, Affiliation, Name, Affiliation. Lists advisory roles.

【総務部】

Table with 3 columns: Position, Name, Affiliation. Lists staff in the General Affairs Department.

【教養部】

Table with 3 columns: Position, Name, Affiliation. Lists staff in the Education Department.

【教化部】

Table with 3 columns: Position, Name, Affiliation. Lists staff in the Education Department.

【渉外部】

Table with 3 columns: Position, Name, Affiliation. Lists staff in the External Relations Department.

【広報部】

Table with 3 columns: Position, Name, Affiliation. Lists staff in the Public Relations Department.

【事業部】

Table with 3 columns: Position, Name, Affiliation. Lists staff in the Business Department.

【地区委員一覧】

Table with 3 columns: District, Name, Affiliation. Lists regional committee members.

Table with 3 columns: Name, Affiliation. Lists regional committee members.

Table with 3 columns: District, Name, Affiliation. Lists regional committee members.



編集後記

▼今年の夏は、ひたすらクイズ系ユーチューバーの動画を観て知識を蓄えていました。おかげで、東大に入れそうなくらい賢くなったような気がします。え、何か覚えているかって？「J」「\」を覚えましたよ！ (鈴)

▼八月に第二子を出産しました。臨月に一度ZOOMでの校正部会に参加させて頂き、心が落ち着かない時期に目の前の一つ一つの言葉について皆で考える時間が有り難かったです。産後の今は、二人の圧倒的な子どもパワーに笑うしかないという感じですが、ゆっくりその生活に慣れていきたいと思っています。 (田)

▼学生時代の友人と会えば、するのはやはり仕事の話。聞けば、随分と活躍しているらしい。我がことのように嬉しい反面、自分はどうだろうか？ 比べても仕方がないとい己に言い聞かせ、今の自分ができることをしようと思う。まずはこの編集後記を期日までに提出するところから。 (野)

▼校正を重ねる中で都神青の活動と向き合うと、会員各位の熱意とたゆまぬ研鑽の積み重ねに改めて

気づかされ、励まされます。会報づくりに関われることを励みとし、誌面を通じてその歩みを正しく伝えられるよう、これからも一号一号を誠実に紡いでまいりたいと思います。 (椿)

▼神道青年会とは部会等に出席するのをはじめ、というレベルの私が今期、広報部副部長を拝命しました。個、が重視される時代にあつてこの尊い活動を継続していくにあたっては職員を抱える神社の積極的な人材の提供が必要だ、と感じています。私も奉職して十年、横の繋がりの大切さを感じるようになりました。 (高)

▼祝『やくわえ』完成！まさか、自分が作ったものが実際に形となって発行されるとは思っていませんでした。笑

多くの方々のご協力をいただき、なんとか完成させることができました。引き続き頑張つて、皆さまに『やくわえ』をお届けしてまいります！ (山)

部・クラブ・同好会紹介

野球部

募集！初心者大歓迎！



〈連絡先〉
濱中 貴文
大鷲神社権禰宜
03-3858-1132
昭和31年発足

雅楽クラブ

雅楽を楽しみたい方大歓迎



〈連絡先〉
香取 正彦
香取神社禰宜
03-3684-2813
平成13年発足

釣りクラブ

釣果を気にする必要なし 打ち上げからの参加も歓迎！



〈連絡先〉
本橋 知子
馬橋稲荷神社権禰宜
03-3311-8588
平成8年発足

フットサル同好会

初心者大歓迎！



〈連絡先〉
田村 仁志
大宮八幡宮権禰宜
03-3311-0105
平成17年発足

演劇同好会

参加者熱烈募集中！



〈連絡先〉
関 龍太郎
八幡神社禰宜
tss.geki@gmail.com
平成23年発足

東京都神道青年会
東京都港区元赤坂二―一―三
東京都神社庁内
電話三四〇四―六五二五(代)

表紙題字
第三代東京都神社庁長
大鳥居吾朗先生